

都産技研の 人間生活工学分野への取り組み

生活技術開発セクター 島田茂伸

1. 平成25年度生活技術開発セクター開所
2. 生活製品開発ラボ (H26)、生活空間計測スタジオ (H27)
3. 機器データベースDHuLE (デューレ) の公開

背景

安価な外国のマスプロダクトに対して、国内の製造業者は高機能化や高付加価値化で対抗しています。その一手法として質感や使用感といった、所謂、人間工学的、生理計測的評価指標が注目されています。こうした技術トレンドに対応する都産技研の取組をご紹介します。

スタジオ



図1. 実際の生活空間計測スタジオ
風景、平成27年11月に開設。



今後の展開

1. 生活空間計測スタジオでの計測結果を活用し、生活製品開発ラボにて高速に製品試作。その製品試作を再度スタジオにて検証実験といった開発ループが成立する機器利用指導、機器整備を進めます。
2. DHuLEによる全国公設試の協力関係を構築しお客様へワンストップサービスを提供します。